



CPAP療法における アンメットニーズと一緒に 探してみませんか？

座長

千崎 香先生

天理市立メディカルセンター臨床検査室

演者

山内 基雄先生

奈良県立医科大学 医学部看護学科 臨床病態医学 教授
奈良県立医科大学附属病院 呼吸器・アレルギー内科

日程

2024年10月11日 (金)

時間

11:50 ~ 12:50 (60分間)

会場

じゅうろくプラザ 第2会場
〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地11

CPAP療法におけるアンメットニーズを 一緒に探してみませんか？

奈良県立医科大学 医学部看護学科 臨床病態医学 教授
奈良県立医科大学附属病院 呼吸器・アレルギー内科

山内 基雄

舌下神経電気刺激療法を含む新規治療が昨今注目を浴びているが、閉塞性睡眠時無呼吸（OSA）に対する標準的治療は依然CPAPである。安易にCPAPをあきらめて新規治療に向かう前に、なんとかしてCPAPを快適に使用させる手立てがないかどうかを見つめ直す必要があると考えている。とはいえ、CPAP療法に現実的な問題が多いのもまた事実である。

今回のランチョンセミナーでは、ISMSJ学術集会に参加して下さっている皆様ならではの企画として、忌憚なくCPAP療法における臨床上のアンメットニーズを議論したいと考えている。どの機種が良いとか悪いとかではなく、「CPAPにこういう機能があったらよいのに」や「こういう指標がレポートに表示されればよいのに」や「こんな機能って意味あるの？」など医師、睡眠検査技師、看護師などからの沢山のリクエストをあぶり出してみたい。こういったリクエストを医療者のみならず企業とで共有することは、CPAP療法の質を向上させることに役立つと考える。可能であれば、聴講者と双方向性でディスカッションして、少しでもCPAP療法におけるアンメットニーズを減らしていく努力をしたいと思う。

（第15回日本臨床睡眠医学会学術集会 抄録集より抜粋）

MEMO